

第2回オンラインセミナー 参加者様

岡崎市スマートシティの取組み ご紹介

岡崎市デジタル推進課

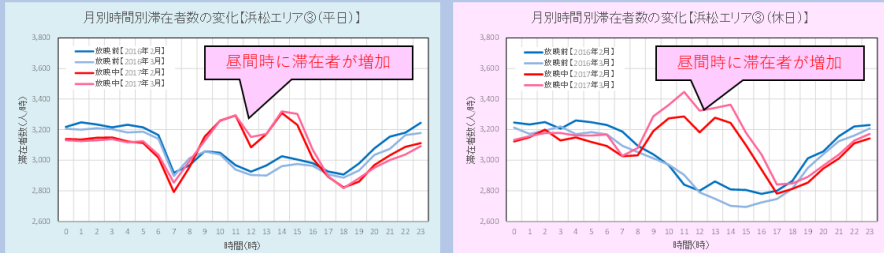
鈴木 昌幸

1 構築事業例

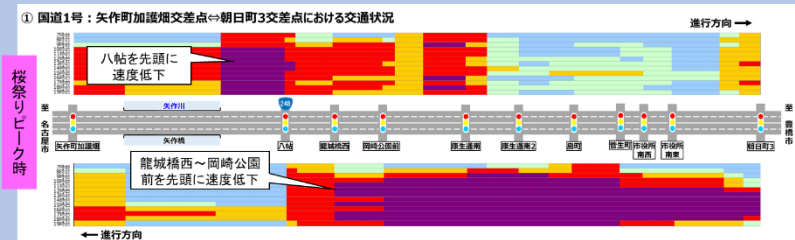
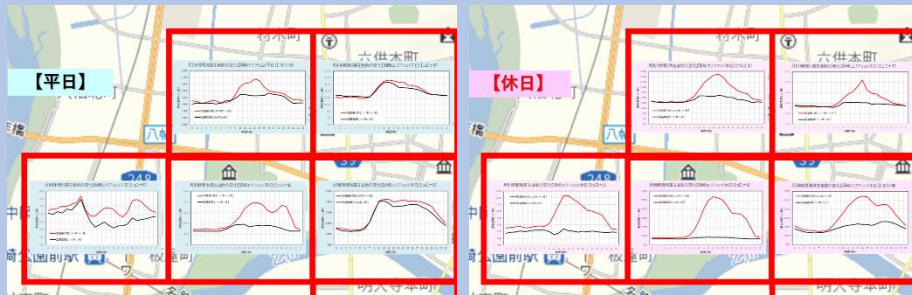
R5.1大河ドラマ館開設が見えてきたR3に、国交省ビッグデータを活用したモデル事業（総政局）を活用し、観光需要の調査推計に着手。R4国交スマートシティ実証を経てR5デジ田交付金で実装。

【R3携帯ビッグデータで観光需要推計】

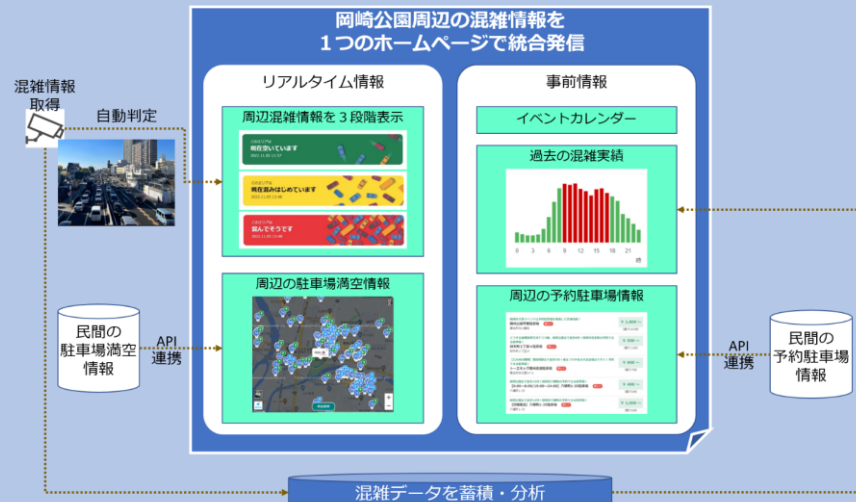
他市の大河ドラマ館における
開館前後の来街者規模を推計



本市の過去大規模イベント時における
来街者規模を推計



【R4混雑情報発信の実証】



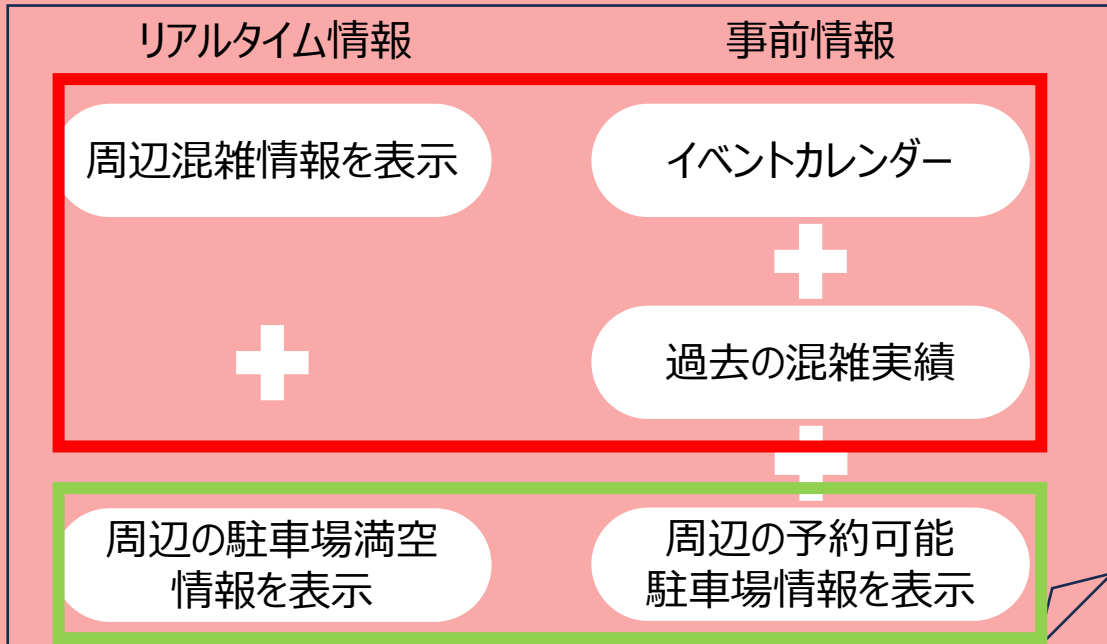
デジタル田園都市国家構想交付金を活用して実装

2 構築事業例における役割分担

 公共で担う範囲 公民連携で担う範囲 民間で担う範囲を整理して取組みを推進



【混雑情報発信の実証 → 実装】



【次世代パーソナルモビリティの実証 → 休日実装】

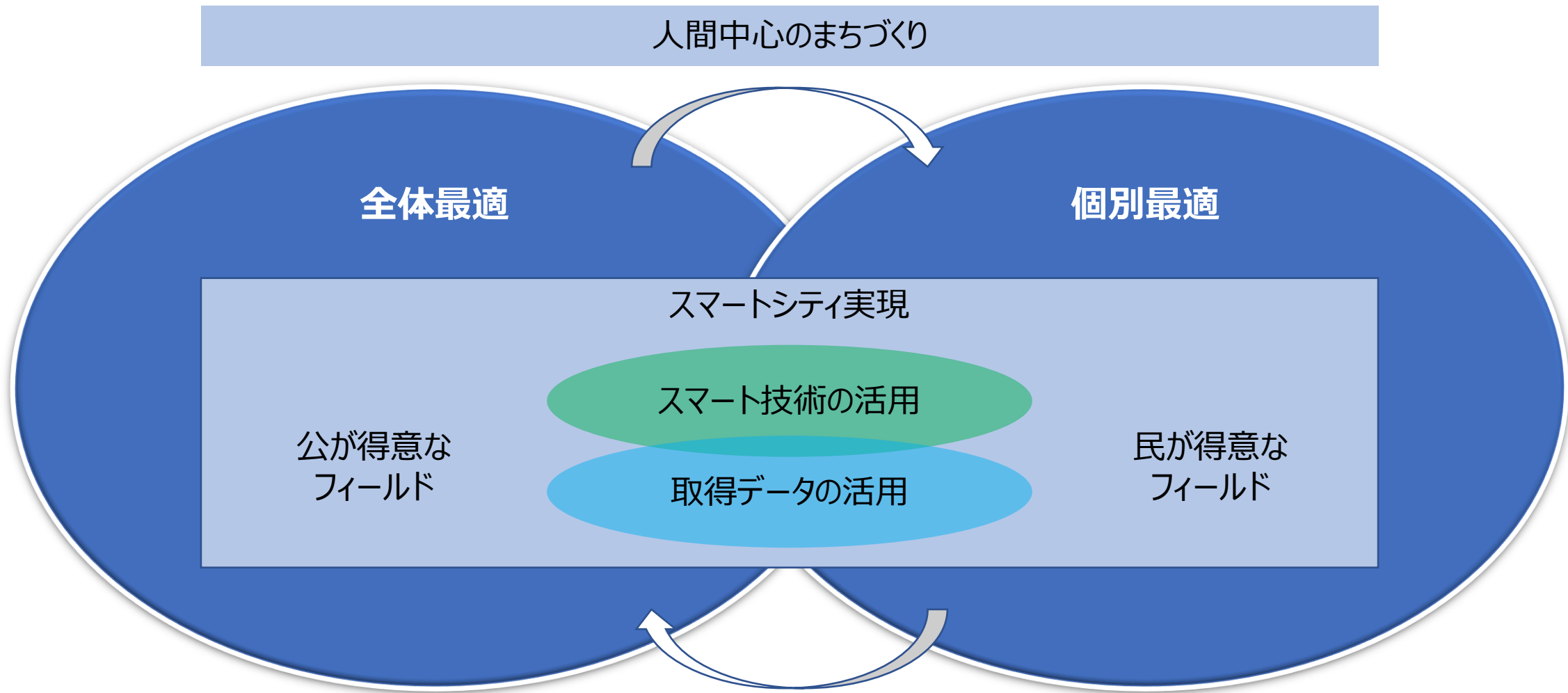


↑ 運営連携

民間主体の観光船（季節運航）



3 責任分担イメージ



4 自治体についての共通理解

自治体ならではの下記事情をご理解いただくと連携が加速する可能性が高まるのでは。

実証実験予算は
確保しにくい

重要施策や優先課題と
連携した方が予算確保
しやすい

固有技術でなければ
入札が前提

公民の責任分担を
早い段階でできると
スムーズ

課題整理から共に
行えると事業検討から
事業実施がスムーズ

コンソ内でどこまで
他社と組めるか
ご配慮に苦慮する

4 予算獲得のコツ

財政課の査定視点

自治体予算の事前統制原則



歳入歳出の均衡

議会説明リハーサル

目玉予算さがし

予算獲得のコツ



歳出削減
努力の表現

国支援等
特定財源の
獲得

重要施策や
優先課題の
位置付け

多分野課題
解決への
チャレンジ表現

数値を用いた
説明

改善改革の
推進に資する
新規事業

